担い手育成特定資産事業　活用事例紹介　鴨澤麗奈さん（花巻市）

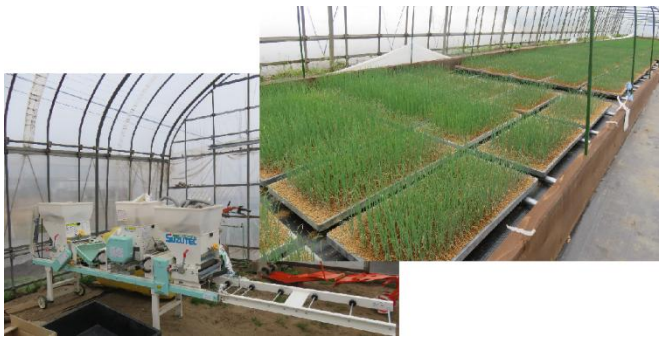
取材担当　中部農業改良普及センター　南川彩

花巻市で野菜栽培に取り組む鴨澤麗奈さんを紹介します。

鴨澤さんは、嫁ぎ先で農業の手伝いをしたのをきっかけに、自分が食べるものを自ら作る楽しさに惹かれ、ネギの栽培を始めました。栽培面積は 13a からスタートし、現在は、ネギ 60a、アスパラ 10a に拡大して栽培しています。

以前は、手作業でネギの播種を行っており、規模拡大に向けては機械導入による播種作業の効率化と均一な苗生産が課題となっていました。
そこで、令和６年度に「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、播種機、コンポキャスター等を導入しました。機械導入後は播種作業が効率化され、拡大した規模でも良質で均一な苗を生産することができるようになりました。現在、定植の時期を迎えていますが、コンポキャスターを活用して畑づくりの効率化も進めており、移植後の経過が楽しみです。

今後は、栽培技術の向上を図り、「花巻で１番のネギ反収を目指したい！」と意気込みを語る鴨澤さん。
花巻地域のネギ生産者として、今後ますますの活躍が期待されます。



導入した播種機と育苗中のネギ

苗の状態を確認する鴨澤さん